

はじめに

薬局を開設して、既に45年を経過致しました。町の小さな薬局の窓口から、社会の移ろいを見て参りました。激変しました。

医学・薬学・診断学は、長足の進歩をとげたのに、病人は減りません。いや、半病人がすごくふえたということでしょう。子供は少なくなり、手の掛かる老人が確実にふえてきています。社会の保障で、これらの人に手をさしのべようとしても、支出のほうが多いのですから、保険の行く末は決して、明るいものではありません。過ぐる18年前、「セオの健康読本」を出版した目的も、健康は自らの手で創りましょう、と言う提言でした。私共の薬局でも、社員がふえています。「物」を売るドラッグとちがって、薬学的な知識、漢方的なちえを求められます。レベルが均等で、質の良い「答」が、用意されねばなりません。

今回、店頭で用いてきた「色々の養生の方法論」をまとめてみることにしました。情報の公開ということにもなるのでしょうか。社員向きのものを、下敷きにしましたので、読みづらいところもあると存じます。どうぞ、お許し下さい。皆様の健康に、少しでもお役に立てれば、と願っております。養生、食べ方学「パート1」は稿を少しずつ進めております。

今、出来たばかりの補助食品は、10年とたたないうちに、殆ど消えてゆきます。あなたのものは大丈夫ですか。

努力して、健康を勝ち取って下さい。私達が応援します。

